

高梁市 議会 だより

第18号
2014年5月

Shimomachi 下町

3月定例会開催

特集 議会改革への挑戦 ②

一般質問 ここが聞きたい! ⑤

委員会報告 ⑫

岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年 渡辺結衣さん作品
【転載禁止】

特集

議会改革への挑戦

……開かれた議会をめざして……

変わってきたけど
まだまだじゃ!
わしも議会報告会で
意見を言うぞ!



©2014中井町 ほうこく#0009

政務調査費の
使いみちは?*

一般質問が
わかりにくい?

議会でどんな
議論があったの?

広報紙の充実を

議会基本条例を制定しよう



一般質問は一問一答方式に
(平成21年9月議会から実施)

政務調査費は公開しよう
(平成21年度分から実施) *

委員会視察の経費削減を
(平成22年度から実施)

議員研修会を開こう
(平成22年度から実施)

議会報告会を開こう
(平成25年度から開催)

委員会も傍聴できるようにしよう
(平成23年9月議会から実施)

公聴会を開こう

議員間討議が必要

市民の声を聞かねば
(平成25年12月議会から、請
願・陳情について提出者からの
意見陳述の機会を設けました)



改革実行

高梁市議会は、議会の公平性及び透明性を保ち、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指し、平成24年6月に「高梁市議会基本条例」を制定しました。

一般質問が
わかりやすくなった

議会報告会に
行ったよ

議会の透明化
が進んだね!



*政務調査費は平成25年度から政務活動費となっています。

3月定例会開催

平成26年度第2回高梁市議会（定例）は3月4日から25日までの22日間の会期で開催され、10日から3日間行われた「一般質問」では、議員11名が37項目にわたって市政全般について質問しました。（今議会から質問時間を5分短縮しました）

最終日には、討論に4名の議員が登壇し、賛成・反対それぞれの立場での意見を述べました。

議決結果は、市長提出の議案79件すべてを可決し、請願・陳情については継続審査を含む、請願1件、陳情1件のうち、1件を不採択、1件を継続審査としました。

一般会計予算 240億5000万円

新年度の一般会計予算は、対前年度比3・7%増の240億5000万円と、高梁市として過去最大の予算規模となり、17の特別を加えた総予算額も393億4239万円、対前年度比3・4%増となりました。

予算編成に当たって執行部は、「定住対策」や「子育て支援環境の維持・充実」、「商工業・農業等産業の振興」や「医療・福祉対策」、「環境施策」や「交流」などを重点施策とし、限られた財源を重点的に配分したとしています。

予算審議では、各施策の詳しい説明を求めるとともに、従来からの事業に対しては、取り組み状況や成果説明、より充実したものにするための意見などが数多く出され、新規事業については、その意義・目的、効果についても意見・質問がなされました。

3月定例会で賛否が分れた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件名	石井	石部	石田	黒川	三村	内田	宮田好	森田	大森	長江	柳井	倉野	植田	川上修	宮田公	川上博	大月	妹尾	難波		
高梁市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
高梁市給水条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市下長谷地区給水施設条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市公共下水道条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市特定地域生活排水処理浄化槽条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市川上畑地かんがい施設条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市手数料条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市留学生奨学基金条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度高梁市一般会計補正予算（第6号）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成26年度高梁市一般会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成26年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市議会基本条例の施行規則制定についての陳情書	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○

※「高梁地域の野良猫をなくすための方策に関する請願書」は継続審査となりました。

◎ 他の議案は全会一致で可決しました。

平成26年度の一般会計予算が過去最大の240億5000万円になっているけど……



災害復旧事業を進めなければならないし、消費増税の影響を少なくするため臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金などの予算も組まれているからね。

高梁駅西交通広場の整備事業や新庁舎建設が行われているし、分譲宅地の造成も計画されているよ。

道整備交付金道路整備や市道防災安全整備、単市道路改良なども増額になっているな。



反対

●各種使用料の引き上げ議案は、消費税の増税部分を使用料に添加するもので、市民生活に影響を及ぼすことになるので反対する。

●高梁市留学生奨学基金条例については、市が留学生に奨学金を支給するものだが、間接的には私立大学を支援していることになるので反対する。

●平成26年度一般会計予算に組まれている「空家住宅等除却費補助金」は、国の制度で行うものであるが、特定対象物の除去を目的に、多大な税金を投入することになり、市民生活支援とのバランスがとれていない。条例や施行規則も示されておらず反対する。

討論

●国民健康保険特別会計予算は、国保税の5%引き上げを前提にしている。引き上げを行わず基金を取り崩して対応するべきであるので反対する。

●議会基本条例の施行規則制定は、今いちど研究が必要であり継続審査を求める。

●各種使用料の改定議案は、消費増税に伴うものでやむを得ないが、増収相当分は社会保障の充実に努力されたい。

●高梁市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更は、駅前交流施設建設を含む部分に異論があるが、子育て世代に密着した計画変更もあり総合的に考えて賛成する。

●平成25年度一般会計補正予算にある商品券発行は、消費増税による生活への影響を

少なくするための施策で賛成する。

●平成26年度一般会計予算は、過去最大のものだが、財政が厳しいなか、さらに財政改革を進めることが大切であることを主張し賛成する。

●新年度予算は、定住促進対策や子育て施策などが評価でき、積極的なPRが必要だ。

●高梁地域の野良猫をなくすための方策に関する請願は、市内で迷惑被害の増加が見られ、今後の採択を要望して継続審査に賛成する。

●議会基本条例の施行規則制定の陳情内容は重要であるが、制定には時期尚早だと考え不採択に賛成する。



賛成

Q. 市中心部を中心に大型公共投資が計画、進行している中、新市発足10周年を迎える。持続可能性のあるまちづくりに向けての次の一手は

A. 将来に向けて、定住政策を中心にした地域資源を生かした自立促進のための総合的施策を推進する



ここを聞きました

- 新市発足10周年を迎えての現状と課題、その方向性について
- 市政10周年記念式典と山田方谷顕彰・啓発事業及び明治維新150周年(2018年)について
- 人口減少下での本市の定住促進と経済振興について
- 2018年問題と学園文化都市づくりと地域振興について

新市発足10周年を迎えての、高梁市の現状と課題、その方向性について問う

市長 市の財政基盤は合併前より安定しており、行政サービス、社会資本整備はしっかりできています。

大森 市中心部は大型公共事業でにぎわいが創出されようとしているが、周辺地域に対する市長の現状認識を聞く。

市長 周辺部の状況、不満は十分認識している。合併して広くなった分ばらつきはある。合併をしなれば今のような社会資本整備は進まなかった。一度にはできないが、一定の時間とともにサービスの均一化が図れると思っている。

山田方谷の内在的論理と明治維新150周年について

大森 明治維新150周年に向けて、方谷の内在的論理を生かした戦略ビジョン構築と職員の意識、モチベーションの向上を求める。

市長 市民、職員とビジョンを共有し、連帯感を高める必要がある。それに向けてアクションを起こしている。

2018年問題と学園文化都市づくり、地域振興について

大森 2018年から18歳人口が減少し、大学の二極化が進む。大学の存在意義、価値をどのように考えているのか。

市長 大学、行政、市民の今以上の連携が必要。独自の色の学園文化都市づくりを目指していく。



ここを聞きました

- 市営住宅について
- 若者定住対策について
- 災害と農業について

Q. 農地災害の個人負担軽減ができないか

A. 少しでも負担軽減を考えていく

市営住宅について

倉野 市営住宅の管理マニュアルはどうなっているのか。

産業経済部長 各地域局とまちづくり課で管理している。年度初めに合同でチェックシートにより確認を行っているが、十分でなければ見直しを検討したい。

倉野 鍵の交換は行っているか。
産業経済部長 公営住宅は安価な家賃が基本であるため交換はしていない。

若者定住対策について

倉野 昨年の12月で市内に出生ができる医療機関がなくなった。若者の定住に及ぼす影響と今後の見通しをどう考えているのか。

健康福祉部長 高梁市だけでなく全国で産婦人科医の数が減少しており、助産師・看護師の確保も

困難になってきていると考えている。成羽病院で行うとすると高額な投資も必要となる。子育てのサポート体制を充実させたい。

倉野 市外での受診に交通費の補助はできないか。

健康福祉部長 今後の検討課題としていきたい。

災害と農業について

倉野 昨年の集中豪雨による農地災害に個人負担の差ができてい

る。負担軽減ができないか。

市長 負担率は国の定めによるもので要望したが農地災害については変わらなかった。被災された方のことを思うと大変であると考えて

る。市として少しでも負担軽減を

考えていく。

Q. 建設業界に雇用しやすい環境づくりを

A. 国の地域づくり事業を活用して新規雇用につなげてほしい



ここを聞きました

- まちづくり対策と地域振興について
- 有害鳥獣駆除の対策について

まちづくり対策と地域振興について

三村 建設業界が衰退している現状をどう認識しているのか、またその対策を考えているのか。

産業経済部長 2月1日付けで労働単価が改正された。国の補正予算の地域人づくり事業を活用して新規雇用につなげてもらいたい。

三村 新玉川橋の完成が間近となっているが、備中広瀬駅利用者の利便性の向上対策を考えているのか。

政策監 利便性の問題については認識しており、JRや国土交通省に要望している。安全性確保等の課題もあり難航しているが、今後も協議を進めていく。

三村 交流人口増を目指すのであれば、民間の宿泊施設を充実させ

て滞在しやすくすることが必要と考える。支援策を考えるべきではないか。

市長 県の事業融資制度などもあるが、多面的な方向で検討していきたい。

有害鳥獣駆除の対策について

三村 有害鳥獣駆除許可手続きの手順を変更できないか。

産業経済部長 平成26年度に猟友会と協議し、鳥獣被害防止捕獲実施隊を立ち上げて対策に当たった

い。

三村 野猿被害が年々増大しているが対策をどう考えているか。

産業経済部長 平成26年度から見回り駆除の1名の増員を考えている。捕獲補助は2分の1としているが実情を考えて研究したい。

Q. 佐与谷川上流の産業廃棄物最終処分場建設の阻止を

A. 市民合意のない処分場建設には、反対の立場を表明



ここを聞きました

- 佐与谷川上流の産業廃棄物最終処分場建設阻止について
- 防災、防火、救急体制の充実について
- 安全・安心の農畜産物の生産と食品の供給について
- 本市の基幹産業である農業の振興について
- 市民の暮らしと経済、農業を壊すTPPIについて

難波 佐与谷川上流に計画されている産業廃棄物処分場は、浄化設備がない処分場である。もし汚染水が出れば飲料水の汚染により、市民の健康に危険が及ぶことも考えられる。これまでの概要と現在の状況はどうなっているのか。

市民生活部長 平成21年に事業概要に反対の意見を県に述べて以降、処分場建設反対の立場で要望書を2回提出している。

難波 市長も建設反対の立場だが今後の取り組みをどうするのか。

市民生活部長 安定型処分場の問題点及び地域住民の方の不安を県に訴え反対の立場で対応する。

難波 関係市町との連携はできないか。

市民生活部長 現在も意見交換をしている。

難波 遺伝子組み換え農産物、食品に対する市の考え方を聞く。

産業経済部長 食品安全委員会と農業資材の審議会により安全性が確認された食品、飼料が流通していると認識している。

難波 学校給食への遺伝子組み換え食品の混入防止対策はどうなっているのか。

教育長 学校給食には遺伝子組み換え食品は使用していない。

難波 農業機械等整備事業の補助率の引き上げはできないか。

産業経済部長 今後の推移をみながら検討する。

難波 本市農業の発展施策を提言する専門委員会の設置を求める。

産業経済部長 高梁市農業再生協議会を設けて意見をいただき施策

を行っている。

Q. アニメーション文化学部について大学とどう連携するのか

A. アニメを産業振興のためのツールと考えたい



ここを聞きました

- マンガ文化のまちづくり推進について
- 起業支援について

大学の新学部と連携してアニメを通じた地域活性化を

石井 吉備国際大学にアニメーション文化学部ができるが、市は大学とどのように連携していくのか。

生産者と販売者を結ぶものづくりの拠点整備を

石井 日本でもふえつつあるフェアラボのような、生産者と販売者を結びつけるものづくりの拠点となる場所を整備できないか。

政策監 新年度に産官学連携事業として100万円の予算を計上している。市が取り組んでいる漫画文化のまちづくりを進めるために大学と連携して調査研究を行うことを考えている。市と大学がそれぞれの持ち分の中で地域の活性化につながるような事業などを進めていきたい。

石井 市が製作者支援を行うことも可能ではないか。

政策監 具体的な計画はない。民間から要望があれば側面的に支援をしていきたい。

産業経済部長 起業や創業支援は非常に重要な取り組みだと考えている。NPOなどが高梁市に拠点を置く場合の支援については充実してきていると思っている。

石井 高梁市在住の工芸作家に作品発表の場所を提供してほしい。産業経済部長 収益事業ではなく、純然たる交流や発表の場であるなら、公共施設などをお貸ししている。

Q. 駅前図書館整備に合わせ、雑誌スポンサー制度と読書通帳を導入すべきではないか

A. 図書館整備の一環として検討していく



ここを聞きました

- 駅前図書館について
- 臨時給付金の支給準備について
- 自治体主体の資金調達について

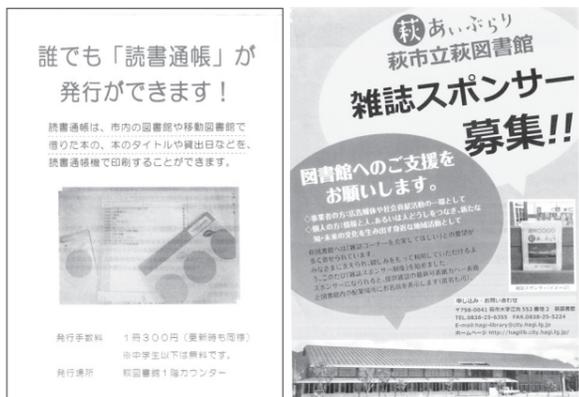
雑誌スポンサー制度と読書通帳を導入すべきではないか。

川上 雑誌スポンサー制度は、図書館の経費削減と雑誌コーナールの充実を図るもので、企業、団体などがスポンサーとなって雑誌の購入費用を負担するかわりに、雑誌のカバーに広告を掲載するものである。新たな財源確保と駅前図書館の充実を図るために導入すべきではないか。

教育次長 図書資料整備についての提案として検討していく。

川上 市民に読書に親しんでもらう取り組みとして、読書通帳を導入する動きが全国各地で見え始めている。借りた本の履歴を目に見える形で残すことによって、子どもを中心に市民の読書への意欲を高める効果が期待される。読書通帳の導入は、財政負担を抑えた効果的な取り組みとして推進できるものである。読書通帳についても導入を検討すべきだ。

教育次長 非常にいい事例を示していただいた。読書活動の一層の推進を図る方策として今後検討させていきたい。



Q. 図書館建設(複合施設)に12億円。どのような比較検討を行ったのか

A. 計数的な数値について現時点では示すことはできない



ここを聞きました

- 旧高梁市における地域公共交通総合連携計画の実施状況について
- 高梁市における子ども・子育て支援施策について
- 図書館建設について
- 総合計画の策定と財政的な裏付けについて

教育次長 計数的な数値については本日ここで示すことはできない。

宮田 中央図書館の移動図書機能についてはどのように対応するか。教育次長 しかるべき時期にきちんと説明させていただく。

宮田 平成25年3月議会で総務文教委員会は「委員から建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討したいとの答弁がありました」と報告したが、この2案においてどのような財政的比較検討を行ったのか。

委員から、建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討したいとの答弁がありました。

2013年5月号 P11 総務文教委員会 報告文書の一部

Q. 地域局の施設整備方針を示すべきではないか

A. 総合計画の後期計画で方向性を示す



ここを聞きました

- 農業振興地域制度について
- 各地域局について
- 平成26年度予算について

農業振興地域制度について

内田 農業振興地域の指定は、国の農用地保全、有効利用の基本方針に従って決定した。現状では、周辺地域の農用地が耕作放棄地や山林化している。実態に即した農用地利用計画の見直しに取り組みべきではないか。

産業経済部長 部分解除で対応してきたが、見直しについては20年以上行われていない。現状にあった計画にすべきであると考え、農政が大きく変化している現在、動向を注視しながら市としての考え方を整理したい。

各地域局施設整備について

内田 地域局の施設は合併前と同様に維持しているが、不要になった建物、不必要な経費が発生している。都市ビジョン地域編の観点

からも早期に今後の方向性を示すべきではないか。

総務部長 総合計画の後期計画において今後の整理、統合、廃止等について方向性を示したい。

いきいき外出支援事業について

内田 本制度は75歳以上の高齢者に外出支援のバス・タクシー券を交付する事業である。なぜ、高梁・有漢地域に限定するのか。全市対象とすることを求める。

市長 4条バス路線の地域では外出支援が十分でない。高梁西地区では、ふれあいタクシー等で支援している。今後、公共交通検討会議で協議し不公平感がないようにしたい。

Q. 平成25年度の全国学力テストの結果をどのように検証し、今後生かしていくのか

A. 今までの取り組みを続けていくとともに、小・中学校連携、土曜日授業等新たな取り組みも行いたい



ここを聞きました

- 空き家対策について
- 地酒を用いた産業振興策及び観光施策について
- 学校園の施設整備について
- 全国学力・学習状況調査結果について

地酒を用いた産業振興施策及び観光施策について

石田 昨年、和食が世界無形文化遺産に登録された。本市でも「高梁市産の地酒の普及促進に関する条例」が制定されたが、清酒は和食に欠くことのできないものであり、地酒に合う和食ということでも普及促進に支援をお願いしたい。**市長** 関係団体と協力して、市としても活動に参画していきたい。

学校園の施設整備について

石田 校庭の芝生化を進めてはどうか。**教育次長** 地域の協力が不可欠であり、条件が整えば検討する。**石田** 平成26年度で市内小中学校5校にエアコン整備が行なわれるが、その他の学校への整備はどうなっているのか。

教育次長 適正な室温の管理という観点で継続して調査をし、平成28年度中には整備したい。

学力向上への取り組みについて

石田 平成25年度の全国学力テストにおいて、市内の中学3年生の成績は全科目全国平均を上回り、全国で10位以内に入る好成績であった。この結果をどのように検証し、今後生かしていくのか。**教育長** 学力向上に特効薬はなく、教師の指導力・熱意と子供の意欲がかみ合わないとうまくいかない。今回の成績は学校が家庭や地域と連携して継続的に取り組んできた成果であり、今後も今までの取り組みを続けていくとともに小・中学校連携、土曜日授業など新たな取り組みも行いたい。

Q. 地域局職員の増員で市民の声を聞け

A. バランスと効率化で対応する



ここを聞きました

- 国保税の引き上げについて問う
- 介護保険の見直しについて問う
- 高梁市合併10年の総括と今後について問う

健康福祉部長 必要なサービスが受けられるように移行後の基盤整備を図り、運用基準が決まり次第施設の指導をしていく。

石部 高梁市が合併して10年経過したが、市民サービスは低下しているのではないかと。多数の市民の声を聞き、総括と今後の指針としてはどうか。また、周辺部支援のため地域局職員の人員をふやしてほしい。

政策監 合併時の協定書に基づき、さまざまな事業や住民サービスについて効率的運営を行ってきた。地域局の職員数は人員削減をしながらも、全体のバランスと効率化を図っていく。

石部 介護保険制度の見直しで軽度の要介護・要支援の方たちへのサービスが低下する。支援が受けられない方には市の援助が必要と考えるがどうか。

Q. 市は各地域に出向き住民の声をもっと聞くべきではないか

A. 総合計画の後期計画の策定に当たって、各地域の現状を把握するための懇談会などを行う



ここを聞きました

- 新総合計画後期計画策定に当たって
- 天然芝グラウンドについて
- 高梁市健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
- 市道改良について

総合計画後期計画策定に当たって

宮田 平成26年度は、総合計画の前期計画が終了し、平成27年度以降の後期計画が検討される。計画策定にあたり、もっと地域の声を聞くべきではないか。**市長** 市民の声を政策に反映させるため「市長と語る会」や「市政へのアイデア便」などで多くの意見・提案をいただいている。

宮田 意見や提案が来るのを待つのではなく、市が率先して地域に出て行くことも必要ではないか。**市長** 合併して10年の節目であり、後期計画策定の年でもあることから、各地域の声を把握する場を設定していきたい。

健康増進施設「ゆ・ら・ら」について

宮田 「ゆ・ら・ら」の活用について12月議会では、民間から提案があり協議を進めているとあったが、1月27日の全員協議会では、協議がまとまらなかったとの報告があった。今後活用方法を模索する中、民間への売却も含め検討してはどうか。**副市長** 市としても「ゆ・ら・ら」の活用は重要な課題と認識している。市の意向に沿った活用がなされるなら民間への売却も含め検討していきたい。



先進地に視察に行きました

議会広報調査特別委員会 副委員長 宮田 好夫

1月23日に情報発信の先端を走る千葉県流山市議会を視察しました。平成18年9月議会から本会議のインターネットによる議会中継が開始されています。委員会のインターネット中継は無料の動画サイト「ユーストリーム」を活用。インターネット中継でもそのまま流すこととしており、発言者は責任を持った発言をするように心がけていました。

ら委員会のインターネット配信をスタートしています。インターネット配信は市議会として公式なものとして行うため、無料動画サイトなどは利用せず、市の公式ホームページで配信しています。ライブ中継を行っているため、休憩中に行われる議員間協議等もそのまま配信しているとのことでした。2日間、大変有意義な視察でした。



流山市議会視察の様子



鶴ヶ島市議会視察の様子

1月24日には埼玉県鶴ヶ島市議会を視察しました。平成22年3月議会から本会議を、平成24年9月議会か

総務文教委員会

「高梁市職員の再任用に関する条例」

委員 採用方法は本人の希望を聞くのか。

執行部 まず希望を出していただき、面接をした上で本人の意向を聞きながら採用していく。

「高梁市留学生奨学金条例」

委員 留学生が途中で帰ってしまふ場合はどのような対応をされるのか。

執行部 これは留学生すべてに支給しているものではない。学校長の推薦があり、経済的な援助が必要と認められる場合に支給することになっている。今まで途中で退学になったケースはないが、退学になれば奨学金は支給停止となる。

「平成26年度高梁市一般会計予算」

委員 学習サポート教室補助金

市民生活委員会

「平成26年度高梁市一般会計予算」

委員 地域おこし協力隊員報酬費について、任期は3年ということだが、任期が来た場合はどのようなになるのか。

執行部 地域おこし協力隊員の任期は1年で3年を最長に更新していただいているが、3年を持って一応退任していただくこととなる。

委員 老朽危険空き家除去事業補助金について、委員会として先進地の視察に行ったが、どこもまらず空き家対策の条例をつくっている。なぜつくらずに補助金を出すのか。

執行部 現在、国のほうで法律の制定を準備されているので、その動向を待っている状況である。法律ができればそれに準拠する市の条例を制定していく。

の内容と状況についてはどうなっているのか。

執行部 昨年の6月より2回のペースで開催している。教職員OBを中心に30名を越える方々が講師として登録している。参加状況は小学生が20名弱、中学生が5名弱となっており、今後受験対応を含めて中学生の参加を呼びかけていきたい。



産業経済委員会

「高梁市川上モデル農場条例を廃止する条例」

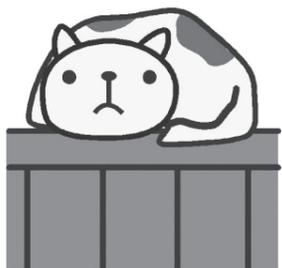
委員 モデル農場のガラス温室は処分されるそうだが、他で再利用すべきではないか。

執行部 ガラス温室については撤去する費用を新年度予算で計上している。補助金で建てているため目的外の使用には制限があり難しいと考える。

「平成25年度高梁市一般会計補正予算（第6号）」

委員 商工業活性化事業補助金は5%のプレミアムつき商品券を発行するものだが、1000円の商品券40万枚の商工会議所と商工会の配分割合はどうなっているのか。なぜ半年間の期限を設けるのか。

執行部 事業主体は商工会議所となり、商工会との配分については協議中である。期限については、



「高梁地域の野良猫をなくすための方策に関する請願書」

委員 今の高梁地域の猫の引き取り数、殺処分の現状を調査してみると、他地域に比べて抜きん出ている。現状に困っているから何とかしてほしいという会の皆さんの要望なので、ぜひ採択してほしい。

委員 県の動向を踏まえながら検討していかねばならないのではないかと。市単独でこの事業をするとなると非常に厳しいと考えられるので、もう一度継続審査にすべきだ。



半年以上になると財務事務所に届出が必要となるため、新年度ですぐに発行したいということと前期と後期で販売するためである。

「平成26年度高梁市一般会計予算」

委員 空き店舗リニューアル促進事業補助金は市内の商店街などどこでも使えるのか。

執行部 栄町商店街、本丁商店街、きじ丸通り商店街を想定している。

議会活性化特別委員会

「高梁市議会基本条例の施行規則制定についての陳情書」

委員 もう一度、議会改革とは何かということを含め、改めて議員の研修会を行い、専門家の先生のアドバイスをいただくべきだ。そうした中で、継続審査として真摯に検討を重ねて結論を出していかねばならないと考える。

委員 規則がなければ条例が守れないということではいけないと思う。12月から3カ月間いろいろと考える中で、全国的にも施行規則の例がないこと、そして根本は議会基本条例をしっかり運用して議員間で意識統一を図っていくことが大事であるので、今回は不採択とすべきだ。



議会だより 高梁城南高等学校と コラボレート!!

今回の表紙を飾って下さったのは、岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年生の渡辺結衣さん。まるで写真のように写実的な画風に編集子一同息を飲みました。今回の作品でうまく描けたところはポストと屋根、苦勞したところは、本物に近い壁の色を出すこととのことでした。幼い頃から絵が大好きだったという結衣さん。将来の夢はデザイナーになることだそうです。本年度は高梁城南高等学校とコラボレートした議会だよりとなります。次号では、どんな生徒さんの、どんな作品に出会えるのでしょうか? どうぞお楽しみに。



○議会を傍聴しませんか○
本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない議会や議員の生の活動がよくわかると思います。

気になるスポット

The spot
of
Takahashi

米軍飛行士殉難の碑

NHKの連続ドラマ「ごちそうさん」の最終盤では占領軍とのやりとりが描かれていましたが、もちろん高梁市でも同じような生活がありました。

高梁市では1956年に米軍機の墜落事故が起きています。米軍戦闘機が飛行訓練中に阿部北山地区の裏山に墜落し、地域の消防団などが墜落機の片付けなどを行いました。

パイロットは殉職し「米軍飛行士殉難の碑」が建立されました。以前は313国道沿いに碑がありましたが、現在は北山公会堂裏に移動されています。

終戦から11年目のこと、安保条約締結から5年目の出来事で当時の新聞記事で確認もできます。

墜落した米軍機のプロペラがしばらくの間、落合小学校の資料室に保存されていたそうですが現在は不明。当時事故現場で米軍の方と話をするのに、落合中学校の英語の先生と、近所の元船員の方が通訳をされたという話も残っています。



米軍飛行士殉難の碑

編集後記

高梁市議会基本条例の前文には「議会には自らの創意と工夫により市民との協働を図り、高梁市のまちづくりを推進していかなければならない」との一文があります。議会での議案審議はもちろんのことですが、自らの創意工夫が問われます。市民との協働を図るためにも議会報告会に多数の市民の方の参加がいただけたらと思います。また、みなさんに親しみを持たれる議会だよりの紙面づくりをと思っています。さて今号の仕上がりはいかがだったでしょうか。
(石部 誠)

編集
議会広報調査特別委員会

委員長 宮田 公人
副委員長 宮田 好夫
委員 川上 博司
委員 森田 仲一
委員 石田 芳生
委員 石井 聡美

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通20043

☎0869-21-0276